

海外水産開発割当て 記入例の見かた

(※)「申請限度数量」
すけそうだら：5,000MT以下
たら、たらの卵、にしん
：500MT以下

① 輸入発表に基づく

1回目の申請

② 過去に輸入割当て
(需割・漁割・開発割に限る)
を使って輸入通関した実績が

ある

ない

③ 今回申請したい数量が
「申請限度数量」(※)

を超える

以下

要領2(1)① 記入例 **1** **5**
様式2で算出した数量
を様式1に記入

要領2(2)① 記入例 **2**

「1回目」の考え方

例えばR3年度の「たら」に申請したい場合
・R2年度たら
・R3年度すけそうだら
は各々輸入発表が行われているため、別として扱います。

② 残余申請限度数量(余っている量)
(= 1回目の申請限度数量 - 累計認定数量)
が今回申請したい数量

以上

未滿

③ 消化率(既に通関した量)が
(= 輸入通関数量 / 累計認定数量)

80%未滿

80%以上

要領2(1)②
要領2(2)② 記入例 **3**

残余申請限度数量が申請限度数量(※)より多い場合は、まずはそれ以下まで消化してから。

要領2(1)③
要領2(2)②
の「ただし」以降 記入例 **4**

2回目以降の申請

2回目以降の考え方と計算方法

例えばすけそうだらの1回目の申請で算出した申請限度数量が2万2千トン、既に1万トン認定済みの場合
「残余申請限度数量」= 1.2万 - 1万 = **2千トン**
今回申請は2千トン以内であれば可能です。
ただし、既に認定された1万トンの消化率が80% (= 8,000トン) 以上であれば、申請限度数量(※) (5,000トン) まで申請することが可能です。

1 海外水産開発割当て 記入例：令和3年度「すけそうだら」

別紙様式1 過去に輸入割当てを使って輸入通関した実績 あり、今年度 1回目の申請の場合

水産庁長官 殿

申請年月日 令和3年5月28日
申請者名 株式会社AA
住所 東京都…
電話番号 03-…

共通：青字部分を埋めてください

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給申請書

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給要領（令和3年4月20日付け2水漁第1507号水産庁長官）に基づき、認定書を発給されたく、下記のとおり申請します。

記

別紙様式2「過年度の輸入割当てによる輸入通関実績等の報告」で計算した数量を記入する。

1 今回の申請数量（いずれか該当する方の口をチェックし、各MTを記入する。）

申請1回目

かつ、要領の2（1）①に該当：20,000MT（申請限度数量：24,000MT）

要領の2（2）①に該当：_____MT（申請限度数量：_____MT）

申請2回目以降

かつ、要領の2（1）②又は（2）②に該当：_____MT
（申請限度数量：申請1回目の申請限度数量－本要領に基づく申請で既に認定された数量（※））

要領の2（1）③又は（2）②のただし書に該当：_____MT
（申請限度数量：_____MT）

※本要領に基づく申請で既に認定された数量について次の表に記入する。

（要領の2（1）③又は（2）②のただし書に該当する者にとっては「*」欄も記入する。）

認定番号	認定書発給日	認定数量（MT）	* 輸入通関数量（MT）	* 消化率（%）
番	年 月 日			
番	年 月 日			
番	年 月 日			
	合計			

2 原産地

アメリカ合衆国

3 船積地域（該当する口を全てチェックする。）

2の原産地

2の原産地以外の地域

（地域名のほか、当該地の保税地域内で加工予定（可能性含む。）があれば、その旨以下記入する。）

中国（加工予定あり）、チリ（加工予定なし）

2 海外水産開発割当て 記入例：令和3年度「すけそうだら」

別紙様式1 過去に輸入割当てを使って輸入通関した実績なし、今年度1回目の申請の場合

水産庁長官 殿

申請年月日 令和3年5月28日
申請者名 BB株式会社
住所 東京都…
電話番号 03-…

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給申請書

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給要領（令和3年4月20日付け2水漁第1507号水産庁長官）に基づき、認定書を発給されたく、下記のとおり申請します。

記

「申請限度数量」は品目により異なるため、認定書発給要領を確認の上、記入する。

1 今回の申請数量（いずれか該当する方の口をチェックし、各MTを記入する。）

申請1回目

かつ、要領の2（1）①に該当：_____ MT（申請限度数量：_____ MT）

要領の2（2）①に該当：4,000 MT（申請限度数量：5,000 MT）

申請2回目以降

かつ、要領の2（1）②又は（2）②に該当：_____ MT
（申請限度数量：申請1回目の申請限度数量一本要領に基づく申請で既に認定された数量（※））

要領の2（1）③又は（2）②のただし書に該当：_____ MT
（申請限度数量：_____ MT）

※本要領に基づく申請で既に認定された数量について次の表に記入する。

（要領の2（1）③又は（2）②のただし書に該当する者にとっては「*」欄も記入する。）

認定番号	認定書発給日	認定数量（MT）	* 輸入通関数量（MT）	* 消化率（%）
番	年 月 日			
番	年 月 日			
番	年 月 日			
	合計			

2 原産地

アメリカ合衆国

3 船積地域（該当する口を全てチェックする。）

2の原産地

2の原産地以外の地域

（地域名のほか、当該地の保税地域内で加工予定（可能性含む。）があれば、その旨以下記入する。）

中国（加工予定あり）、チリ（加工予定なし）

3 海外水産開発割当て 記入例：令和3年度「すけそうだら」

別紙様式1 過去に輸入割当てを使って輸入通関した実績 あり、今年度 2回目の申請の場合

水産庁長官 殿

申請年月日 令和3年5月28日
申請者名 株式会社AA
住所 東京都…
電話番号 03-…

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給申請書

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給要領（令和3年4月20日付け2水漁第1507号水産庁長官）に基づき、認定書を発給されたく、下記のとおり申請します。

記

「② 申請1回目の申請限度数量」から「③ 本要領に基づく申請で既に認定された数量」を「① 差し引いた数量（＝申請限度数量）」がわかるよう、それぞれ記入する。

1 今回の申請数量（いずれか該当する方の口をチェックし、各MTを記入する。）

申請1回目

かつ、要領の2（1）①に該当：_____ MT（申請限度数量：_____ MT）

要領の2（2）①に該当：_____ MT（申請限度数量：_____ MT）

■申請2回目以降

かつ、要領の2（1）②又は（2）②に該当：4,000MT

（申請限度数量：①4,000MT＝②24,000MT－③20,000MT）

（①申請限度数量＝②申請1回目の申請限度数量－③本要領に基づく申請で既に認定された数量）

要領の2（1）③又は（2）②のただし書に該当：_____ MT

（申請限度数量：_____ MT）

発行済みの認定書を
確認の上、記入する。

※本要領に基づく申請で既に認定された数量について次の表に記入する。

（要領の2（1）③又は（2）②のただし書に該当する者にとっては「*」欄も記入する。）

認定番号	認定書発給日	認定数量（MT）	* 輸入通関数量（MT）	* 消化率（%）
1番	平成30年5月29日	20,000		
番	年 月 日			
番	年 月 日			
	合計	20,000		

2 原産地

アメリカ合衆国

3 船積地域（該当する口を全てチェックする。）

■2の原産地

■2の原産地以外の地域

（地域名のほか、当該地の保税地域内で加工予定（可能性含む。）があれば、その旨以下記入する。）

中国（加工予定あり）、チリ（加工予定なし）

海外水産開発割当て 記入例：令和3年度「すけそうだら」

別紙様式 1

水産庁長官 殿

✓過去に輸入割当てを使って輸入通関した実績なし、✓今年度2回目の申請、
 ✓1回目の申請限度数量5,000MTのうち、既に4,000MTの認定を受けている。申請限度数量残り1,000MTを申請可能であるところ、これをを超える数量を申請したい場合

申請年月日 令和3年5月28日

申請者名 BB株式会社

住所 東京都…

電話番号 03-…

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給申請書

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給要領（令和3年4月20日付け2水漁第1507号水産庁長官）に基づき、認定書を発給されたく、下記のとおり申請します。

記

1 今回の申請数量（いずれか該当する方の口をチェックし、各MTを記入する。）

 申請1回目かつ、 要領の2(1)①に該当：_____ MT（申請限度数量：_____ MT） 要領の2(2)①に該当：_____ MT（申請限度数量：_____ MT） 申請2回目以降

かつ、 要領の2(1)②又は(2)②に該当：_____（申請限度数量：申請1回目の申請限度数量一本要領に基づく申請で既に認定された数量（※））

「申請限度数量」は品目により異なるため、認定書発給要領を確認の上、記入する。

要領の2(1)③又は(2)②のただし書に該当：5,000MT（申請限度数量：5,000MT）

発行済みの認定書を確認の上、記入する。

※本要領に基づく申請で既に認定された数量について次の表に記入する。（要領の2(1)③又は(2)②のただし書に該当する者にとっては「*」欄も記入する。）

認定番号	認定書発給日	認定数量 (MT)	* 輸入通関数量 (MT)	* 消化率 (%)
2番	平成30年5月30日	4,000	3,200	80.0
番	年 月 日			
番	年 月 日			
	合計	4,000	3,200	80.0

2 原産地

アメリカ合衆国

3 船積地域（該当する口を全てチェックする。）

 2の原産地 2の原産地以外の地域

（地域名のほか、当該地の保税地域内で加工予定（可能性含む。）があれば、その旨以下記入する。）

中国（加工予定あり）、チリ（加工予定なし）

要領の2(1)③又は(2)②のただし書「既に認定された数量の80%以上を通関している」ことを申請者自身が確認し、記入する。なお、通関数量の裏付け資料である輸入承認証の写しの提出を求めることがある。

海外水産開発割当て 記入例：令和3年度「すけそうだら」

別紙様式2 ■過去に輸入割当てを使って輸入通関した実績 あり、■今年度1回目の申請の場合

水産庁長官 殿

申請年月日 令和3年5月28日

申請者名 株式会社AA

住所 東京都…

電話番号 03-…

過年度の輸入割当てによる輸入通関実績等の報告

令和3年度「すけそうだら」海外水産開発割当て認定書発給要領（令和3年4月20日付け2水漁第1507号水産庁長官）に基づく認定書発給申請に当たり、要領の2（1）①を申請するため、数量決定の根拠となる、平成16年度以降の本要領と同一の品目の輸入発表に基づく需要者割当て、漁業者割当て又は海外水産開発割当てによる輸入通関実績の合計及びこれより計算される申請限度数量を下記のとおり報告します。

“割当年度”とは、その輸入割当てが何年度の輸入発表で公表されたものか、ということ。「〇年度（4月～翌年3月）中に使用した全ての輸入割当て」という意味ではないので注意する。

記

1 過年度の輸入割当てによる輸入通関実績

(1) 割当年度

平成27年度

■株式会社AAの過年度（過去）の輸入通関実績

平成27年度 需要者割当てによる通関実績：10,000MT

平成27年度 海外水産開発割当てによる通関実績：10,000MT

平成27年度割当てによる通関実績の合計：20,000MT

(2) 輸入通関数量（原魚換算数量）

（すけそうだらをすり身で輸入する場合は、すり身重量に5を乗じた数量が原魚換算数量となる。）

割当方式	輸入割当て証明書番号	輸入通関数量（MT）
需要者割当て	AP-(AE)----	10,000
海外水産開発割当て	AP-(AE)----	5,000
海外水産開発割当て	AP-(AE)----	5,000
割当て		
割当て		
割当て		
割当て		
割当て		
合計		20,000

2 申請限度数量

（「1 過年度の輸入割当てによる輸入通関実績」の合計に1.2を乗じた数量を記入する。）

$20,000\text{MT} \times 1.2 = 24,000\text{MT}$

別紙様式1 認定書発給申請書の「1 今回の申請数量」の「■申請1回目」の「要領の2(1)①に該当」の「申請限度数量」欄に記入する。